

事業所名		シェルフかごはら第2教室			支援プログラム（放課後等デイサービス）		作成日	2024 年	12 月	12 日
法人（事業所）理念		子どもたちがかけがえのない唯一無二の存在として大切にされ、その子らしく成長・発達していけることを目的とし、コンプライアンスを遵守し療育の質の向上をめざす。支援者同士が考えを出し合い、対話することを大切にする。チームとして自分たちの療育を振り返り、記録をし、療育環境を整え、声かけの方向を考える創造的な療育をする。								
支援方針		子どもにとって遊びは発達に不可欠であり、情緒の安定ももたらすことを踏まえ、自発的に遊べることを重視する。自分で自由に選択できる環境において脳がもっとも学習するようにできていること、一番大切な情緒の部分が生き生きとすることを考慮し、子どもが望む遊びを思う存分させることを大切にする。発達の特徴を見極め、適切にサポートし、次のステージにいった時に、より良い人生を生きられるために成長できる支援を行う。								
営業時間			10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり		
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	シェルフに来ることを楽しみに、生活リズムを整え、規則正しい生活を送ることで健康状態を維持できるようにする。学習に課題のある子どもには、それぞれに必要な学習支援を行う。								
	運動・感覚	外遊び（鬼ごっこ、遊具あそび等）で思い切り身体を使って刺激を取り入れ、バランス感覚を育てる。								
	認知・行動	心理専門職による箱庭療法、プレイセラピー、認知行動療法を提供する。問題行動を繰り返させないように対応し、本人の特性と成長の時期を見て、苦手をカバーするためのアイデアや工夫を考えて支援する。								
	言語コミュニケーション	言葉でのコミュニケーションに課題のある子には、その子にあった方法で意思の伝達ができるよう支援する。								
	人間関係社会性	複数人でゲームなどの遊びを楽しむ中で友だちとの関わり方を練習し、良い人間関係を築けるよう支援する。コミュニケーションの困難性から生ずる問題行動を予防することで適切な行動ができ、周囲の人と安定した関係を形成することができるよう支援する。								
家族支援		送迎時や面談でコミュニケーションを取りながら、日々の状況を共有する。また、必要に応じて保護者面談を行う。保護者の思いに耳を傾け、保護者の自己決定を尊重する。				移行支援	ライフステージの切り替え時に次の事業所へ情報共有、支援方法の共有を行う。			
地域支援・地域連携		学校、地域での生活も楽しめるように関係機関と連携を取る。				職員の質の向上	虐待防止研修・感染防止研修 自立支援協議会への参加 個別支援計画の検討を通しての支援方法の研修			
主な行事等		初詣、ゆうゆうバスでお出かけ、七夕、水遊び、川遊び、工場見学、クリスマス会、お楽しみ会、夏休みのおでかけ								